



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年10月31日

上場会社名 住友ファーマ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4506 URL <https://www.sumitomo-pharma.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 木村 徹
問合せ先責任者（役職名） コーポレートガバナンス部長（氏名） 木野 孝一（TEL） 06-6203-5321
半期報告書提出予定日 2025年11月4日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け）
(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		中間利益		親会社の所有者に 帰属する中間利益		中間包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	227,122	25.7	96,084	—	96,157	—	98,860	—	98,860	—	96,109	—
2025年3月期中間期	180,749	18.4	△38	—	△8,179	—	△32,228	—	△32,229	—	△41,892	—

(参考) 税引前中間利益 2026年3月期中間期 92,802百万円 2025年3月期中間期 △32,406百万円

※コア営業利益は、営業利益から一部の項目を除外したものととなります。

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	248.84	—
2025年3月期中間期	△81.12	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	778,404	265,588	265,588	34.1	668.50
2025年3月期	742,604	169,479	169,479	22.8	426.59

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	429,000	7.6	97,000	124.8	98,000	240.2	92,000	289.3	231.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社(社名) ー 、除外 2社(社名) 住友制薬投資(中国)有限公司
住友制薬(蘇州)有限公司

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	397,900,154株	2025年3月期	397,900,154株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	610,506株	2025年3月期	610,242株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	397,289,755株	2025年3月期中間期	397,290,479株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれていません。これらの事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しています。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画・目標などが記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通しなどが記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件などにつきましては、添付資料P.5「1. 当中間決算に関する定性的情報(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・医薬品等(開発中のものを含む)に関する情報が含まれていますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- ・四半期(中間期)決算短信の開示とあわせて、四半期決算補足資料および四半期決算説明会資料を開示しています。
- ・当社は、2025年10月31日(金)に機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向けに、第2四半期決算説明会を開催する予定です。この決算説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 研究開発活動	4
(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	6
(2) 要約中間連結財政状態計算書	8
(3) 要約中間連結持分変動計算書	10
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	14

1. 当中間決算に関する定性的情報

当社グループは、国際会計基準（以下「IFRS」）に準拠した連結財務諸表を開示しています。

なお、文中における将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

（1）経営成績に関する説明

（業績管理指標「コア営業利益」について）

当社グループでは、IFRSの適用にあたり、会社の収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しています。

「コア営業利益」は、営業利益から一部の項目を除外したものとなります。除外する主なものは、減損損失、事業構造改善費用、条件付対価公正価値の変動額等です。

当中間連結会計期間の当社グループの連結業績は、以下のとおりです。

（単位：億円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）	増減	増減率 （%）
売上収益	1,807	2,271	464	25.7
コア営業利益	△0	961	961	—
営業利益	△82	962	1,043	—
税引前中間利益	△324	928	1,252	—
親会社の所有者に 帰属する中間利益	△322	989	1,311	—

■ 売上収益は2,271億円（前年同期比25.7%増）となりました。

日本およびアジアは減収となりましたが、北米において進行性前立腺がん治療剤「オルゴビクス」および過活動膀胱治療剤「ジェムテサ」の売上が拡大したことに加え、「オルゴビクス」の販売マイルストーン収入を計上したこと等により増収となりました。

■ コア営業損益は961億円の利益（前年同期は0億円の損失）となりました。

増収に加え、事業構造改善効果の発現や再生・細胞医薬事業の再編等により販売費及び一般管理費ならびに研究開発費が減少したこと、アジア事業の一部持分を譲渡したことにより関係会社持分譲渡益をその他の収益に計上したことから、コア営業損益は前年同期と比較し大きく改善しました。

■ 営業損益は962億円の利益（前年同期は82億円の損失）となりました。

コア営業損益の改善に加え、事業構造改善費用が減少したことにより、営業損益は前年同期と比較し大きく改善しました。

■ 税引前中間損益は928億円の利益（前年同期は324億円の損失）となりました。

営業損益が改善したことに加え、前年同期は多額の為替差損を計上しましたが、当中間連結会計期間は為替差益を計上したこと等により金融収益と金融費用をあわせた金融損益が改善したことから、税引前中間損益は前年同期と比較し大きく改善しました。

■ 親会社の所有者に帰属する中間損益は989億円の利益（前年同期は322億円の損失）となりました。

税引前中間損益の増益の影響が大きく、親会社の所有者に帰属する中間損益も前年同期と比較して大きく改善しました。

(セグメント業績指標「コアセグメント利益」について)

セグメント別の業績では、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しています。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

＜日本＞

■ 売上収益は469億円（前年同期比11.3%減）となりました。

2型糖尿病治療剤「ツイミグ」の売上が伸長しましたが、2型糖尿病治療剤「エクア」「エクメット」の独占販売期間が終了したことによる売上減少の影響が大きく、減収となりました。

■ コアセグメント損益は79億円の利益（前年同期比26.4%増）となりました。

減収により売上総利益は減少しましたが、前連結会計年度に実施した早期退職等に伴う事業構造改善効果により販売費及び一般管理費が減少した影響が大きく、増益となりました。

＜北米＞

■ 売上収益は1,630億円（前年同期比56.4%増）となりました。

抗てんかん剤「アプティオム」について独占販売期間が終了したことにより売上が減少しましたが、「オルゴビクス」および「ジェムテサ」の売上拡大ならびに「オルゴビクス」の販売マイルストーン計上の影響が大きく、増収となりました。

■ コアセグメント損益は466億円の利益（前年同期比526.1%増）となりました。

増収による売上総利益の増加に加え、合理化を進めたことによる販売費及び一般管理費の減少により、大幅な増益となりました。

＜アジア＞

■ 売上収益は173億円（前年同期比27.2%減）となりました。

連結子会社であった住友制薬投資（中国）有限公司およびSumitomo Pharma Asia Pacific Pte. Ltd.ならびにそれらの子会社を通じて運営するアジア事業を譲渡したことに伴い、当該会社が連結子会社でなくなったことにより、減収となりました。

■ コアセグメント損益は90億円の利益（前年同期比21.0%減）となりました。

事業の一部持分の譲渡により、減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産については、前連結会計年度末に比べ358億円増加し、7,784億円となりました。

非流動資産では、アジア事業の一部持分を譲渡したことにより持分法で会計処理されている投資が増加したため、前連結会計年度末に比べ179億円増加しました。

流動資産では、売却目的で保有する資産や棚卸資産が減少しましたが、営業債権及びその他の債権や現金及び現金同等物が増加した結果、前連結会計年度末に比べ179億円増加しました。

負債については、借入金や繰延税金負債等が減少した結果、前連結会計年度末に比べ603億円減少し、5,128億円となりました。

資本合計は、利益剰余金が増加したため、前連結会計年度末に比べ961億円増加し、2,656億円となりました。

なお、当中間連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は34.1%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、中間損益が大きく改善したこと等により、前年同期に比べ135億円改善し、180億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、アジア事業の一部持分の譲渡に伴う子会社の支配喪失による収入がありましたが、前年同期にはRoivant Sciences Ltd. 株式等の投資有価証券の売却による多額の収入があったこと等により、前年同期に比べ698億円収入が減少し、276億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少等により、前年同期に比べ145億円支出が増加し、440億円の支出となりました。

上記のキャッシュ・フローに、売却目的で保有する資産の振替および現金及び現金同等物に係る換算差額を加味した結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は385億円となり、前連結会計年度末に比べ154億円増加しました。

(4) 研究開発活動

当中間連結会計期間における研究開発費の総額は、175億円（前年同期比33.3%減）となりました。なお、北米事業構造改善費用を除いたコアベースの研究開発費は、175億円（前年同期比30.4%減）となりました。また、当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分していません。

精神神経領域では、本年8月、raguneprocel（他家iPS細胞由来ドパミン神経前駆細胞）について、進行期パーキンソン病患者のオフ時の運動症状の改善を効能・効果として、国内における製造販売承認申請を行いました。

がん領域では、本年6月、nuvisertib（開発コード：TP-3654）について、米国食品医薬品局（FDA）より、中等度または高リスクの骨髄線維症を対象としたファストトラック[※]の指定を受けました。

※ファストトラック：重篤または生命を脅かす恐れのある疾患に対する治療法のうち、アンメット・メディカル・ニーズの高い疾患に対して治療効果が期待される治療法の開発・審査の迅速化を目的とした制度

(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、2025年5月13日に公表した2026年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせします。

1. 2026年3月期通期連結業績予想の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上収益	コア 営業利益	営業利益	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	355,000	56,000	54,000	40,000	100.68
今 回 修 正 予 想 (B)	429,000	97,000	98,000	92,000	231.57
増 減 額 (B－A)	74,000	41,000	44,000	52,000	—
増 減 率 (%)	20.8	73.2	81.5	130.0	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	398,832	43,153	28,804	23,634	59.49

(注) コア営業利益は、当社独自の業績管理指標として設定しているものであり、営業利益から一部の項目を除外したものととなります。除外する主なものは、減損損失、事業構造改善費用、条件付対価公正価値の変動額等です。

2. 修正の理由

売上収益は、「オルゴビクス」を中心に、北米での販売が引き続き好調に推移すると見込むことから、前回発表予想から740億円増の4,290億円に修正しました。

コア営業利益は、増収による売上総利益の増加を見込み、また、アジア事業にかかる関係会社持分譲渡益が期初想定を上回ったこと等から、前回発表予想から410億円増の970億円に修正しました。

営業利益は、コア営業利益の増加により、前回発表予想から440億円増の980億円に、親会社の所有者に帰属する当期利益は、上期に発生した税金費用の減少などを織り込み、520億円増の920億円に修正しました。

通期の想定為替レート（期中平均為替レート）については、前回発表予想の1米ドル145.0円から変更ありません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

【要約中間連結損益計算書】

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上収益	180,749	227,122
売上原価	72,327	89,701
売上総利益	108,422	137,421
販売費及び一般管理費	89,996	76,561
研究開発費	26,272	17,524
その他の収益	473	52,772
その他の費用	787	496
持分法による投資損益(△は損失)	△19	545
営業利益(△は損失)	△8,179	96,157
金融収益	1,206	1,239
金融費用	25,433	4,594
税引前中間利益(△は損失)	△32,406	92,802
法人所得税	△178	△6,058
中間利益(△は損失)	△32,228	98,860
中間利益(△は損失)の帰属		
親会社の所有者持分	△32,229	98,860
非支配持分	1	—
中間利益(△は損失)	△32,228	98,860
1株当たり中間利益(円)		
基本的1株当たり中間利益(△は損失)	△81.12	248.84

【要約中間連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間利益(△は損失)	△32,228	98,860
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動	△12,077	724
純損益にその後に振り替えられる可能性の ある項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動	△74	58
在外営業活動体の換算差額	2,487	△3,533
その他の包括利益合計	△9,664	△2,751
中間包括利益合計	△41,892	96,109
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者持分	△41,893	96,109
非支配持分	1	—
中間包括利益合計	△41,892	96,109

(2) 要約中間連結財政状態計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	46,648	44,939
のれん	197,406	196,457
無形資産	172,509	166,510
その他の金融資産	44,148	44,201
未収法人所得税	6,765	6,732
退職給付に係る資産	14,727	14,948
持分法で会計処理されている投資	5,588	31,951
その他の非流動資産	1,111	1,094
繰延税金資産	534	464
非流動資産合計	489,436	507,296
流動資産		
棚卸資産	94,222	82,755
営業債権及びその他の債権	74,840	124,548
その他の金融資産	16,840	9,645
未収法人所得税	2,886	2,715
その他の流動資産	10,902	12,955
現金及び現金同等物	23,116	38,490
小計	222,806	271,108
売却目的で保有する資産	30,362	—
流動資産合計	253,168	271,108
資産合計	742,604	778,404

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債及び資本		
負債		
非流動負債		
社債及び借入金	258,982	258,850
その他の金融負債	15,818	17,881
退職給付に係る負債	6,534	6,297
その他の非流動負債	24,638	16,560
繰延税金負債	26,550	14,199
非流動負債合計	332,522	313,787
流動負債		
借入金	46,440	4,000
営業債務及びその他の債務	38,544	42,046
その他の金融負債	32,916	29,373
未払法人所得税	1,577	4,388
引当金	71,999	78,070
その他の流動負債	45,663	41,152
小計	237,139	199,029
売却目的で保有する資産に 直接関連する負債	3,464	—
流動負債合計	240,603	199,029
負債合計	573,125	512,816
資本		
資本金	22,400	22,400
自己株式	△682	△682
利益剰余金	46,784	147,516
その他の資本の構成要素	97,525	96,354
売却目的で保有する資産に 関連するその他の包括利益	3,452	—
親会社の所有者に帰属する持分合計	169,479	265,588
資本合計	169,479	265,588
負債及び資本合計	742,604	778,404

(3) 要約中間連結持分変動計算書

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
				その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	在外営業活動体の換算差額	合計
2024年4月1日残高	22,400	△682	△22,665	64,526	92,484	157,010
中間利益(△は損失)	—	—	△32,229	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△12,151	2,487	△9,664
中間包括利益合計	—	—	△32,229	△12,151	2,487	△9,664
自己株式の取得	—	△0	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	41,640	△41,640	—	△41,640
所有者との取引額等合計	—	△0	41,640	△41,640	—	△41,640
2024年9月30日残高	22,400	△682	△13,254	10,735	94,971	105,706

2025年4月1日残高	22,400	△682	46,784	9,306	88,219	97,525
中間利益(△は損失)	—	—	98,860	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	782	△81	701
中間包括利益合計	—	—	98,860	782	△81	701
自己株式の取得	—	△0	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	1,872	△1,872	—	△1,872
所有者との取引額等合計	—	△0	1,872	△1,872	—	△1,872
2025年9月30日残高	22,400	△682	147,516	8,216	88,138	96,354

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	売却目的で 保有する資産に 関連するその他 の包括利益	合計		
2024年4月1日残高	—	156,063	73	156,136
中間利益(△は損失)	—	△32,229	1	△32,228
その他の包括利益	—	△9,664	—	△9,664
中間包括利益合計	—	△41,893	1	△41,892
自己株式の取得	—	△0	—	△0
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△0	—	△0
2024年9月30日残高	—	114,170	74	114,244

2025年4月1日残高	3,452	169,479	—	169,479
中間利益(△は損失)	—	98,860	—	98,860
その他の包括利益	△3,452	△2,751	—	△2,751
中間包括利益合計	△3,452	96,109	—	96,109
自己株式の取得	—	△0	—	△0
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△0	—	△0
2025年9月30日残高	—	265,588	—	265,588

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
中間利益 (△は損失)	△32,228	98,860
減価償却費及び償却費	13,689	10,481
関係会社持分譲渡益	—	△49,043
減損損失	—	1,963
条件付対価契約に関する金融資産及び 金融負債の公正価値変動額	428	△1,500
受取利息及び配当金	△866	△575
支払利息	2,698	3,844
法人所得税	△178	△6,058
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	13,036	△44,173
棚卸資産の増減額 (△は増加)	7,558	9,783
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△6,230	10,781
前受収益の増減額 (△は減少)	△8,956	△6,374
その他の金融負債の増減額 (△は減少)	8,588	1,466
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△178	△458
引当金の増減額 (△は減少)	4,466	6,245
その他	△9,346	△14,250
小計	△7,519	20,992
利息の受取額	441	435
配当金の受取額	447	215
利息の支払額	△1,474	△2,536
法人所得税の支払額	△886	△1,081
法人所得税の還付額	13,543	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,552	18,025
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,066	△2,523
有形固定資産の売却による収入	1,024	380
無形資産の取得による支出	△4,195	△1,487
関係会社株式の取得による支出	—	△2,338
投資の取得による支出	△1,020	△786
投資の売却及び償還による収入	105,708	3,434
子会社の支配喪失による収入	—	30,477
その他	—	477
投資活動によるキャッシュ・フロー	97,451	27,634

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△28,412	△42,530
リース負債の返済による支出	△1,341	△1,304
配当金の支払額	△1	△1
その他	318	△134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,436	△43,969
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	72,567	1,690
現金及び現金同等物の期首残高 (要約中間連結財政状態計算書計上額)	29,047	23,116
売却目的で保有する資産に含まれる 現金及び現金同等物の振戻額	—	13,172
現金及び現金同等物の期首残高	29,047	36,288
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,404	512
現金及び現金同等物の中間期末残高	100,210	38,490
売却目的で保有する資産への振替額	△1,128	—
現金及び現金同等物の中間期末残高 (要約中間連結財政状態計算書計上額)	99,082	38,490

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要性がある会計方針)

本要約中間連結財務諸表において、当社グループが適用する重要性がある会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当中間連結会計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しています。

(セグメント情報等)

当社グループでは、IFRSの適用にあたり、会社の収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しています。

「コア営業利益」は、営業利益から一部の項目を除外したものととなります。除外する主なものは、減損損失、事業構造改善費用、条件付対価公正価値の変動額等です。

(1) 報告セグメント

当社グループは、主として医療用医薬品の製造、仕入及び販売を行っており、日本、北米、アジアのマーケットごとに業績管理を行っているため、日本、北米、アジアの3つを報告セグメントとしています。

なお、当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成要素のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失は、以下のとおりです。

なお、当社グループでは、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しています。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

① 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			
	日本	北米	アジア	計
外部顧客への売上収益等	52,825	104,188	23,736	180,749
セグメント利益 (コアセグメント利益)	6,251	7,437	11,399	25,087

② 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			
	日本	北米	アジア	計
外部顧客への売上収益等	46,863	162,970	17,289	227,122
セグメント利益 (コアセグメント利益)	7,903	46,564	9,004	63,471

(3) 報告セグメント合計額と要約中間連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

調整額に関する事項は、以下のとおりです。

(単位: 百万円)

利益	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
報告セグメント計	25,087	63,471
研究開発費(注1)	△25,106	△17,476
関係会社持分譲渡益等	—	49,544
その他	△19	545
コア営業利益(△は損失)	△38	96,084
条件付対価公正価値の変動額	△428	1,500
減損損失	—	△1,963
事業構造改善費用(注2)	△7,010	△187
その他の収益	473	1,652
その他の費用	△787	△488
その他	△389	△441
要約中間連結財務諸表の営業利益(△は損失)	△8,179	96,157

(注) 1 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分していません。なお、要約中間連結損益計算書における研究開発費との差額は、コア営業利益の算定から除外される研究開発関連費用です。

2 前中間連結会計期間における事業構造改善費用は、当社および北米グループ会社等における合理化に関連する退職金等の費用です。また、当中間連結会計期間における事業構造改善費用は、国内グループ会社および北米グループ会社等における合理化に関連する退職金等の費用です。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。